

## 「岩手ようごの会」 第15回実践交流会のご案内&第14回の報告



平成30年9月13日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

酷暑という言葉が挨拶に飛び交った今夏、子どもたちにも先生にも厳しい日々でした。皆様ご体調は回復されましたでしょうか。そして、8月から今月に発生した台風被害や大地震は、日常の危機管理を考えさせられるものです。本会では第15回実践交流会を開催いたします。今回は、校種、経験年数を問わずに学びのニーズが高い、救急処置・危機管理に関するテーマで開催します。ご参加を心よりお待ちしております。

### .....第15回 実践交流会のご案内.....

テーマ 「感染症の危機管理・・・

今シーズン発生した感染性胃腸炎集団感染事例から危機対応を学ぶ」

\* 日時：平成30年10月13日(土) 10:00~12:15

\* 場所：アイーナ7F 岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室4

(今回は、会場が変更になっています。お間違いのないようにお越しください。)

季節を問わず発生する感染性胃腸炎、今シーズン集団発生した学校の事例から、危機管理体制に則った対応、対処の実際と子どもたちの健康の確保、保健指導など、感染症の危機管理の在り方を考えて行きたいと思えます。

当日は、実際にその対応を行った2名の先生からレポートを紹介いただきます。インフルエンザの集団発生とは異なる対応・対処、そして混乱や見えた課題など具体的にお聞きして自校の危機管理に備えたいと思えます。

**\*お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。**

### 第14回実践交流会の報告



第14回のテーマは、「**定期健康診断 計画から実施・事後措置までの流れを追って…一連の実践から次年度に活かすヒントを探ってみませんか**」について実践交流を行いました。今回は、養護教諭を目指す学生さんやフレッシュさんからベテランさんまで幅広い経験の方々の参加をいただきました。実践交流を通じて、健康診断の一連の流れは、評価と課題解決の循環であることを改めて気付かせていただきました。そして、具体的で細やかな工夫・内容は、参考になるものが沢山ありました。

**【実践紹介】 発表テーマ 「定期健康診断 計画から実施・事後措置までの流れを追って」**

❖盛岡市立城南小学校 加藤奈穂子先生      ❖岩手県立盛岡商業高等学校 茶畑悦子先生

❖岩手県立盛岡第一高等学校 伊藤恵先生・・・レポートによる紹介

2名の先生方からは、定期健康診断の計画立案から、年度始め職員会議における提案と確認、保健調査と保護者との連絡と確認、各種データの収集方法、学校医と実施にかかる連絡調整、健康診断の実際と工夫、事後措置、保健指導、その際に使用する資料まで一連の流れを紹介いただきました。

❖加藤先生からは、健康診断実施の流れは歴代養護教諭の職務の積み重ねであり、その実践から本校に最適な健康診断の流れが確立されている。研究的視点を持った実践活動の蓄積に感謝している。また、各種健康診断の準備は3日前に完了させ不測に備えているなど、細やかな実践の工夫を紹介いただきました。

❖茶畑先生からは、健康診断の計画立案は、前年度の2月に開催する学校保健委員会終了からスタートする。学校保健活動は健康診断に始まり健康診断で終了するサイクルともいえる。今回は、内科検診の実施について具体的に紹介いただきました。プライバシーや生徒一人一人に配慮した健康診断の実施に心掛け、思いやりを持った健康診断の実施から事後措置までの流れには、養護教諭の「ようご」の原点がありました。

❖伊藤先生は、出張のためレポートで歯科を中心に実践活動を紹介いただき、事務局が報告させていただきました。

**<実践交流とシェアリングの紹介・・・抜粋>**・・・❖学生さんより、「周知」ということが難しいと感じた。それに対して、全職員による健康診断の進め方について紹介があった。保健主事兼養護教諭が、週1回、各学年担当者の出席のもとに会議を開催し、実施、役割分担などを確認して全職員で実施している。❖健康診断の課題や問題点は、養護教諭だけのものではなく見える化が必要となっている。❖内科検診など、LGBTの対応の在り方を検討する時期にきているのではないかと。❖**まとめ**：定期健康診断の計画・実施・事後措置までの流れは、自己・他者評価を行い改善し発展していくサイクルである。次年度にむけて課題解決のアクションを起こす際には、関係者の意見も踏まえ(他者評価) 細やかな配慮をもってPDCAサイクルで展開したい。